

2022年度ソフトバレーボール・アクティブリーダー研修会及び
ソフトバレー・レディース香川県大会兼全国大会予選大会
安全対策ガイドライン

香川県ソフトバレーボール連盟

標記研修会及び同大会（以下「各行事」という。）に参加する全ての者は、各自で感染予防に努めることを原則としつつ、各行事参加者の安全を保つため、次の事項を遵守することとする。

1. 各行事参加者の方へ

- ① 体育館に入場する際には、マスクを着用する（フェイスシールド可）。
- ② 審判実技講習及び競技中を除き、体育館内（特に、観客席）では、マスクを着用し、ソーシャルディスタンス（少なくとも、1メートル以上の間隔）を守る。
- ③ 体育館に入場できるのは、原則として、各行事に参加する者のみとする。やむを得ず前記以外の者を同伴する場合には、「参加者名簿」に必ず記載する。
- ④ 各行事に参加する者から出たゴミは、会場のゴミ箱などに捨てず、必ず持ち帰る（ゴミ袋を必ず用意）。また、忘れ物（飲み物・衣類等）は、原則として本部で廃棄する）。

2. 受付時

- ① 大会参加のチーム代表者は、「参加者名簿」を提出する。エントリー変更がある場合は、「エントリー変更届」とエントリー変更後の「参加者名簿」を提出する。
- ② 標記研修会の受講料及び同大会の参加料は、釣銭のいらないよう準備し納付する。
- ③ 体育館に入場する際には、必ず検温を受ける（当日、37.5℃以上の発熱のある者は、入場できない。）

3. 標記大会の開会式及び表彰式

- ① 開会式は、間隔を保ちアリーナーにおいて行う。
- ② 表彰式は、未使用のコート等でソーシャルディスタンスを保ち行う。

4. 審判実技講習及び競技中

- ① 競技開始前の握手は、キャプテントスも含めて行わない。参加者（受講者及び選手）は、エンドラインに間隔を空けて整列し、審判員とともに全員で挨拶（礼）をする。
- ② コート内の参加者以外は、全員マスクを着用する。コート内の参加者

が個人的にマスク着用を求めた場合は、これを認める。

なお、コート内の相手チームの参加者にマスク着用を要求できない。

- ③ マスク着用の参加者は、競技途中でマスクを外したときには、マスクをしっかりと安全に管理する。
- ④ 参加者は、タイムアウト時も含めて2メートル程度の距離を持って話し、円陣は組まない。
- ⑤ 大きな声での指示や声援、参加者同士のハイタッチはしない。
- ⑥ スポーツドリンク、タオルなど持ち物は、各自接触しないように注意し、個人専用の袋に入れることが望ましい。
- ⑦ 実技講習及び競技が終了した参加者は、しっかりと除菌又は手洗い等を行い、次の実技講習及び競技又は審判に備える。
- ⑧ 審判時は、マスク又はフェイスシールドを着用する。
- ⑨ 原則として、電子ホイッスルを使用する。ハンドシグナルは、電子ホイッスルを持ったままで行うこととする。
- ⑩ 主審は、選手に明らかな安全対策ガイドライン（感染対策）に違反する行為があれば、ゲームキャプテンに、また、講師は、当該受講者に注意することができる。
- ⑪ 線審の使用する「フラッグ（旗）」及び使用球は、実技講習及び競技終了後は、本部あるいは講師において消毒を行う。
- ⑫ 競技開始ごとに本部において新たな「試合結果記録用紙」を用意する。

5. 各行事終了後

- ① 参加者は、ミーティングや懇親会等では、3密を避け、会話時には、マスクを着用するなど感染対策に努める。
- ② 各行事終了後、2週間以内に感染が疑われる症状が発生した場合は、速やかに理事長に連絡する。